

東北公益文科大学 DX（デジタルトランスフォーメーション）推進計画

策定：令和3年1月28日

改正：令和5年9月20日

デジタル活用に対する教育現場での意識が高まっている社会状況に対応し、東北公益文科大学において、デジタル技術を本学の教育研究手法に積極的に取り入れることで、学生の教育や質保証、授業手法及びその改善について、大学全体の教育の高度化を一層推進するため、本計画を策定することとする。また、本計画の実行及び事業の普及により、業務の効率化、研究の高度化の実現を目指す。

1. DX 推進の目標

デジタル技術を活用して教育の高度化、多様化を推進し、学修者のニーズや到達状況を踏まえ、外部のケイパビリティも活用しながら教育の個別最適化を進めることで学修者の学修体験価値（Learner eXperience; LX）を向上し、教育の付加価値を最大化することを通して、デジタル社会を先導できる人材を育成すること

2. 計画期間

本計画は、大学本体の中期計画「第3次 教学中期計画」の実施期間に連動することとし、令和7年度までの期間とする。

3. 推進体制

次のような体制でDX（デジタルトランスフォーメーション、以下DX）の推進を図る。

DX 推進事業を統括する計画責任者に学部長を充てることとし、個別の事業の所管部署の決定や連携事業等全体の進捗等について管理し、学長に都度報告する。

DX 推進に係る事業のうち、教育に関することは、教育推進センターが所管し、状況に応じて IMC（インフォメーションマネジメントセンター）及び関係各担当部署との連携しながら推進する。

また、コンピュータを用いた教育の基盤整備については、IMC が教育推進センター及び施設担当者と連携・協議をして推進する。

なお、本事業（DX 推進）は、本学の中期計画「第3次 教学中期計画」の取組目標となるため、事業の最終的な統括については「第3次 教学中期計画」の進捗管理を行う「大学戦略会議」で行うこととする。

4. DX 推進計画の内容

本事業では以下の重点項目について推進する。

- (1) IT 環境及び DX 推進に係る環境整備を行う
 - ・学内ネットワークの増強
 - ・コンピュータを用いた教育の基盤整備
- (2) デジタル技術を活用し教育改善を行う
 - ・情報技術を活用して問題解決を行うことができる人材の育成（ダブルメジャー）
 - ・デジタル技術を用いた教育の高度化（LMS）
 - ・デジタル資源を用いた教育の多様化（他大学連携や外部資源活用）
- (3) デジタルスキルを磨き学生成長を促進する
 - ・学生の PC 所持率・利用スキルの向上（データサイエンス）
 - ・学外からの学内ネットワークへの接続率の向上（どこでもキャンパス）
- (4) 業務の効率化、研究の高度化
 - ・手続書類等のオンライン化・ペーパーレス化
 - ・DX の推進による業務の改革
 - ・セキュリティ対策の徹底
 - ・研究交流のリモート化